

機能要件一覧

(別紙 2)

項番	大項目	中項目	小項目	機能要件	備考
1	県や市町のHP等で発信された情報(新着情報)を取得する機能	(1) クローリング	(1)①	情報取得対象ウェブサイト一覧に登録されているURLから、対象ウェブサイトをクローリングし、新着情報欄に掲載されたデータ(タイトル、URL、情報公開日時)を取得できること(RSSを含む)	情報取得対象ウェブサイトは、県・市町が運営するホームページ等のウェブサイトであり、想定される当初のページ数は約90ページである。これらのウェブサイトは定期的にてリニューアルが行われることが想定されるが(ウェブサイトが5年間隔でリニューアルされると想定した場合、各年度で18ページ程度)、リニューアル後も県システムによるクローリングの情報取得ができるようにする。
2			(1)②	クローリングのタイミング、頻度はシステム管理者によって変更可能なこと	
3			(1)③	クローリングに失敗した場合、エラーとしてシステム管理者に通知すること	
4	新着情報をテーマ分野にカテゴリ分けし出力する機能	(2) カテゴリ分け・抽出	(2)①	配信情報から、タイトル(見出し)、URL、情報公開日時、発信元自治体名を抽出すること	抽出：情報取得対象ウェブサイトの新着情報欄に記載された配信情報から、「記事・ページ等のタイトル、URL、情報公開日時、発信元自治体名」を抽出する。 カテゴリ分け・抽出および配信対象外の判定により、配信情報ごとに「記事・ページ等のタイトル、URL、情報公開日時、テーマ分野(下記のとおり)、配信対象外フラグ」の項目を整理する。なお、これらの項目は適宜見直しを行うことを想定する。
5			(2)②	生成AIを利用し、配信情報の内容をインプットとして、その情報が対象としているエリアをカテゴリ分けすること	このエリアについて、市町単位とするか、市町より細かい単位(旧自治体の単位や校区単位)とするかは、本県と受託者の協議により決定する。
6			(2)③	生成AIを利用し、配信情報の内容をインプットとして、テーマ分野をカテゴリ分けすること	テーマ分野は、「くらし／子育て／健康／防犯・防災／産業／市政(町政)／観光／移住／文化／イベント／乳幼児(1歳未満)／乳幼児(1歳～3歳)／未就学児／小・中学校の児童生徒／高校生／妊娠・出産／高齢者の介護／障がい者の介助／障がい児／ひとり親世帯／多子世帯(3人以上)／生活保護／判別不可 等」を想定するが、本県の要望に応じて、テーマ分野の追加削除を行うこと。また、複数テーマに該当する場合はその全てのテーマに該当するものとしてカテゴリ分けするものとする。
7			(2)④	生成AIでテーマ分野をカテゴリ分けできなかった配信情報は、「判別不可」にカテゴリ分けすること	
8			(2)⑤	配信情報の内容が配信対象外キーワード一覧に該当する場合は配信対象外フラグを立てること	
9			(2)⑥	カテゴリ分け・抽出結果の履歴(ログ)を、システム管理者および県・市町の管理者・担当者が確認できるようにすること。また、県・市町ごとにカテゴリ分け・抽出の結果を区分し、その団体の管理者・担当者に日次でメールにより通知すること。	ログは、「情報取得対象ウェブサイト・ページ等のタイトル、URL、情報公開日時、発信元自治体名、対象エリア、テーマ分野(上記のとおり)、『判別不可』への該当有無、配信対象外フラグの有無」の項目を整理し一覧化する。 システム管理者および県・市町の管理者・担当者はシステム画面もしくはCSVファイルなどで確認できるようにし(ただし、市町の管理者・担当者が確認できるのは自団体のログのみ)、県・市町の管理者・担当者向けには、各団体(発信元自治体)ごとの一覧を整理してメール通知すること。
10		(3) 出力	(3)①	カテゴリ分け・抽出したデータを、XML形式に出力したRSS配信等、情報発信事業者等が一般的なツール等を用いて取得できる方法で公開すること	出力する項目は、配信情報ごとに「記事・ページ等のタイトル、URL、情報公開日時、発信元自治体名、対象エリア、テーマ分野(上記のとおり)」の項目を整理する。配信対象外フラグが立った配信情報は、出力しないこととする。また、テーマ分野が「判別不可」にカテゴリ分けされた配信情報は、情報発信事業者に公開しないこととする。
11			(3)②	カテゴリ分け・抽出したデータを、一般的な情報発信媒体のアプリケーションとの連携を行うことができるようにAPIを構築すること	(3)①と同等のデータを、情報発信事業者等の有するシステムへ直接発信するためのAPIを構築する。 APIで設定する各種パラメーター、リクエスト形式等は、本システムを利用する予定の情報発信事業者等とも調整し、決定すること。
12		(4)システムへのデータの直接入力	(4)①	システム管理者および県・市町の管理者・担当者が配信情報のタイトル、URL、情報公開日時、対象エリア、テーマ分野を直接入力できること。またその団体の管理者・担当者のみが入力後の情報を編集・削除できること	基本的に自動でクローリングし情報取得を行うが、県・市町において緊急情報やウェブサイトに掲載していない情報を発信する必要がある時のために、県システム上で手動で入力する「直接入力」機能を設ける。
13			(4)②	アラートから発信された災害情報等を取得できること	
14		(5) 直接入力データの出力	(5)①	直接入力されたデータを、XML形式に出力したRSS配信等、情報発信事業者等が一般的なツール等を用いて取得できる方法で公開すること	
15			(5)②	直接入力されたデータを、一般的な情報発信媒体のアプリケーションとの連携を行うことができるようにAPIを構築すること	
16	登録された情報や機能の詳細設定を管理するために必要な管理者機能	(6)アカウント管理	(6)①	システム利用者の権限レベルを、A.システム管理者、B.県 管理者、C.市町 管理者、D.県・市町 担当者の4つのレベルに区分し、A～Dのみがログインし、システムを操作できること。また、不正アクセス等がないような仕組みとすること	権限は、A.システム管理者、B.県 管理者、C.市町 管理者、D.県・市町 担当者の4つのレベルに分かれ、その想定は、「機能要件に関する補足説明資料(別紙3)」に記載する。
17			(6)②	権限レベルに応じた、システム利用者の追加・編集・削除ができること	AはB～Cの追加・修正・削除、BはC～Dの追加・修正・削除、Cは自団体のDの追加・修正・削除ができること
18		(7)各種一覧メンテナンス	(7)①	A,Bが、情報取得対象ウェブサイト一覧を編集(追加、変更、削除)できること	編集内容により生成AIの処理精度が変わる場合には、(必要に応じ)プロンプトの調整等を行うものとする。
19			(7)②	A,Bが、テーマ分野一覧を編集(追加、変更、削除)できること	編集内容により生成AIの処理精度が変わる場合には、(必要に応じ)プロンプトの調整等を行うものとする。
20			(7)③	A,Bが、エリア一覧を編集(追加、変更、削除)できること	編集内容により生成AIの処理精度が変わる場合には、(必要に応じ)プロンプトの調整等を行うものとする。
21			(7)④	A,B,C,Dが、所属する県・市町の団体ごとに配信対象外キーワード一覧を編集(追加、変更、削除)できること	編集内容により生成AIの処理精度が変わる場合には、(必要に応じ)プロンプトの調整等を行うものとする。